

平成24年度 事業報告

（自 平成24年 1 月 4 日）
（至 平成24年12月31日）

平成24年度 事業報告

< 1 > 決議事項

	開催年月日	主な決議事項等
理事会	平成24年2月2日	1. 理事会運営規則の制定承認の件（第1号議案） 2. 平成23年度事業報告承認の件（第2号議案） 3. 平成23年度決算承認の件（第3号議案） 4. 平成24年1月1日～3日事業報告承認の件（第4号議案） 5. 平成24年1月1日～3日決算承認の件（第5号議案） 6. 平成24年1月4日～12月31日予算承認の件（第6号議案） 7. 規程類の制定及び改正承認の件（第7号議案） 8. 定時総会招集及び提出議案の件（第8号議案） 総会提出議案 第1号議案 平成23年度決算承認の件 第2号議案 平成24年1月1日～3日決算承認の件 第3号議案 定款変更の件 第4号議案 理事報酬の総額上限承認の件 第5号議案 監事報酬の総額上限承認の件 9. 常任理事報酬決定の件（第9号議案） 10. 外部理事監事責任限定契約締結の件（第10号議案） 11. 相談役、顧問選任の件（第11号議案） 12. 新入会員社承認の件（第12号議案）

平成24年4月17日	1. 委員長人事について (第1号議案)
平成24年7月3日	1. 新入会員社承認の件 (第1号議案) 2. 3ヶ年計画について (第2号議案)
平成24年10月2日	1. 新入会員社承認の件 (第1号議案) 2. 第52回消費者のためになった広告コンクール審査結果 (第2号議案)
平成24年12月18日	1. 「JAA三カ年計画の推進」、「平成25年事業計画(案)、事業予算(案)」、および「平成24年活動報告」について (第1号議案) 2. JAA広告論文審査結果 (第2号議案) 3. JAA協会ロゴマーク刷新の件 (第3号議案)

<2>事業活動

広告活動の健全な発展を実現するため下記の活動を行った。

なお、「広告活動の健全な発展」とは、以下の5つの要素からなる。

- 1) 消費者・生活者に役立つ信頼性の高い情報の提供
- 2) 地域格差の是正
- 3) 一般市民を含む関係者の法的権利の保護
- 4) 広告主の社会的責任・倫理意識の向上
- 5) 合理的な広告活動モデルの構築

1. 人材育成事業

広告の健全な発展を担う人材を育成することを通して、広告の健全な発展を促進することを目的として、以下の事業を行った。

参加募集の広報は、協会ホームページ、機関誌を通じて広く行った。

・「超」基礎講座

広告宣伝担当1年未満の初心者向けセミナー 開催地 東京・大阪・名古屋

日時、参加人数

5月30日	10時～17時30分	東京	79名参加
6月6日	9時30分～17時	大阪	21名参加
10月24日	10時～17時30分	東京2回目	56名参加
11月2日	9時30分～17時	名古屋	12名参加

講師

多摩美術大学教授 佐藤達郎氏、アジャイルメディア・ネットワーク 藤崎実氏
 小学館 新島徹氏 秋吉CMオフィス 秋吉淳一郎氏
 藤川達夫専務理事

広告担当の初心者に対して、広告を通じて生活者へ信頼性の高い情報を提供していく上で必要な知識や情報を提供した。

・実践広告塾

広告宣伝経験2～3年の担当者向けセミナー 開催地 東京

日 時 6月28日、29日 7月26日、27日 9月6日、7日
 10月4日、5日 10時～17時

参加人数 37名

場 所 JAA会議室

講 師 花王 本間充氏、東芝 荒井孝文氏、明治 堀淳理氏

ユニリーバ・ジャパン 山縣亜己氏、ライオン 南暁氏、

キヤノンマーケティングジャパン 武村憲篤氏、ハウス食品 田口利久氏

味の素 島崎紘而氏、PARTY 原野守弘氏、日本たばこ産業 苅谷淳司氏

サントリービジネスエキスパート 越野多門氏、資生堂 葛西浩明氏

パナソニック 藤崎敦氏、旭化成 朝日賢一氏、日本IBM 小川愛氏

三菱電機 若井泰雄氏、AOI Pro. 藤原次彦氏、

NTTドコモ 樺沢正人氏

効果的な媒体活用法、クリエイティブ発想力、トータルコミュニケーション手法など、健全な広告活動を行う上で、広告宣伝担当者として知っておくべき実践的な知識を提供した。

・Webプロデューサー育成講座

Webマスター向けセミナー 初級編 開催地 東京

日 時 7月4日、7月11日 10時～17時

参加人数 85名

場 所 銀座東武ホテル

講 師

キヤノンマーケティングジャパン 増井達巳氏

インプレスビジネスメディア 安田英久氏、ツルカメ 森田雄氏

ベネッセコーポレーション 松本圭介氏、電通 森直樹氏

サッポロビール 森勇一氏

デジタルコンサルティングパートナーズ 平塚元明氏

生活者にとって、Webサイトの役割は年々重要性を増しており、その情報発信側の実務責任者であるWebサイトを総合的にプロデュースする人材を育成する事業を行った。

・クリエイティブ塾

クリエイティブの視点を養う連続講座 開催地 東京

日 時 2月22日、5月8日、7月13日、10月12日、11月26日
16時～18時

場 所 JAA会議室、dof会議室

参加人数 79名

講 師 dof 齋藤太郎氏、電通 高崎卓馬氏

TBWA/HAKUHODO 佐藤カズー氏

広告を中心に生活者と良質なコミュニケーションを創造しているクリエイターなど、広告制作の現場で活躍している方々から、広告に対する哲学や視点などを聞き、クリエイティブ力・表現力・コミュニケーション力の向上に資する事業を行った。

・アドフェスト研修会

アジア太平洋地域から応募された3,000点余りの広告が一堂に会するアジア最大の広告祭への参加と現地広告制作事情の研修会

開催地 タイ・パタヤ

日 時 3月15日～21日

場 所 バンコク、パタヤ

参加人数 14名

おびただしい数の広告作品に直に触れると同時に、世界で活躍する有名クリエイターなどの講演会を通じ、現代の生活者との接点を考え、広告コミュニケーションの潮流

を学ぶ研修会を実施した。

・新任宣伝課長向け勉強会

宣伝部署に着任して6ヶ月未満の課長クラス対象勉強会 開催地 東京

日 時 参加人数

10月10日 18時～20時 12名参加

11月14日 18時～20時 7名参加

場 所 JAA会議室

講 師 東芝 松本健一郎氏

生活者に情報を届ける上での発信側の実務担当責任者に、媒体選択のポイント、費用対効果の考え方など、コミュニケーションスキルの向上と、マネジメントに必要な知識を身につけるための事業を行った。

・新任宣伝部長向け勉強会

宣伝部署に着任して6ヶ月未満の部長クラス対象勉強会 開催地 東京

日 時 参加人数 10月19日 18時～20時 9名参加

場 所 JAA会議室

講 師 資生堂 石川浩之氏

生活者に情報を届ける上での発信側のキーマンに、媒体選択のポイント、費用対効果の考え方など、コミュニケーションスキルの向上と、マネジメントに必要な知識を身につけるための事業を行った。

2. 調査研究事業

各種の事業の基礎資料とすべく、生活者の広告への接触状況や関心度を調査した。

- ・生活と情報についてのアンケート調査 刊行物として発刊
生活者の広告への接触状況や関心度から、広告との関係性を調査したもの。
- ・ソーシャルメディアユーザー調査 Webサイトに結果を公開
適切なデジタルコミュニケーション施策検討の材料とするため、生活者のソーシャルメディア、スマートフォンの利用実態や、ユーザー属性、特徴を調査したもの。

3. 表彰事業

- ・消費者のためになった広告コンクール

趣旨 審査に広告関係者を含まず、生活者が優れた広告を選考する広告コンクール

で、アドバイザーの社会的責任の自覚を促すとともに、生活者にとって有益な広告が増加することを目指すもの。

対象 平成23年7月1日～平成24年6月30日の間に出稿された新聞広告・雑誌広告・テレビ広告・ラジオ広告・Webサイトの5部門の作品（広告）が対象。全国30名の一般消費者である広告推薦モニターからの応募をはじめアドバイザー・広告会社・制作会社・媒体社から応募があった。

内容 「好感・共感・親近感もてる広告であるか」「分かりやすく、納得できる広告であるか」「オリジナリティが感じられる広告であるか」の3項目の審査基準のもと、応募総数3,707点の中から、最高賞である経済産業大臣賞3点（新聞＝パナソニック、雑誌＝サムソナイト・ジャパン、テレビ＝東芝）をはじめ、全94点の入賞を決定、表彰した。

・ 広告論文賞

趣旨 広く広告に関する論文を募集し、審査、表彰、公表することで、広告の社会的使命、生活者とのコミュニケーションなどの知見を共有するもの。

対象 広告を出稿する企業・団体に所属する個人またはグループ

内容 これからの広告に関する提言や新しい広告手法の成果などを、8,000字程度の論文にまとめるもの。本年度は54編の応募作品の中から金、銀、銅賞各1点と、優秀賞6点を表彰した。

金賞 「損害保険会社としての使命を果たすために

～東日本大震災に伴う広告活動を振り返って～」

東京海上日動火災保険 広瀬陽子氏

・ Webクリエイション・アワード

趣旨 Web業界で成功したプロジェクトによって、業界へ影響を与え、貢献した人物を称揚することにより、業界全体のレベルアップを図り、生活者とのより良いコミュニケーション技術の発展を目指すもの。

対象 Webに関わるすべての人

内容 Webサイトで一般推薦を受け付け、推薦された114名の中から、一般人と賛助会員社が投票を行い、得票数に基づき、入賞を決定する。Web人大賞は、ローソン白井明子氏が受賞したほか、計11名を表彰した。

4. 啓発普及事業

広告の動向や調査結果について啓発普及するためのセミナーを開催した。

・「調査から分かる日本と海外の消費者の違い」

日 時 5月24日 15時30分～17時 場所 JAA会議室

講 師 デロイト トーマツ コンサルティング 木村伸幸氏

参加人数 40名

広告・マーケティング関係者を対象に、消費者のメディア接触に関するグローバル調査に基づき日本と海外の消費者の傾向を知り、消費者が知りたい情報をいかに伝えるかを説いた。

・「若者消費者論～ケータイ世代とスモールライフ」

日 時 7月12日 15時30分～17時 場所 JAA会議室

講 師 博報堂若者生活研究室 原田曜平氏

参加人数 36名

アドバイザー、広告関係者、一般を対象に、消費者と広告のより良い関係構築のために、若者世代の価値観・消費行動をテーマに講演を行った。

・「トヨタのスマートフォン活用・NECのデジタルサイネージの取り組み」

日 時 8月1日 15時～17時 場所 JAA会議室

講 師 トヨタマーケティングジャパン 平野義孝氏 NEC 松坂和良氏

参加人数 29名

アドバイザーの新たなメディア、デバイス活用事例を共有し、消費者とのタッチポイントが多様化する中でのコミュニケーション方法について考察した。

・「広告実務における知的財産のリスクマネジメント」

日 時 9月10日 15時30分～17時30分 場所 JAA会議室

講 師 電通 渡部秀人氏

参加人数 67名

広告制作担当者を対象に、消費者に不快感を与えない広告表現やトラブルになった場合の対処法等、広告制作において最低限知っておくべき知識を学ぶことで、広告の質的向上を目指した。

・「BSデジタル放送の視聴者プロフィール市場調査について」

日 時 10月10日 15時～17時 場所 JAA会議室

講 師 BS6社会、衛星テレビ協議会

参加人数 42名

生活者に効果的にメッセージを届けるべく、より正確な視聴者像を把握するために、BS、CS放送団体が行った調査結果を共有した。

- ・「ダイハツと講談社による雑誌コンテンツがつなぐリアルとデジタル」

日 時 12月12日 13時30分～15時 場所 JAA会議室

講 師 講談社 丸山紀子氏、長崎巨宏氏 グーグル 丹下智貴氏

参加人数 74名

アドバイザーの雑誌担当者を対象に、雑誌媒体の読者の声に耳を傾け、読者と雑誌との絆を活かした良質なコミュニケーション手法を事例から紹介した。

- ・「これからのONLINEブランディング広告」

日 時 10月23日 15時～17時 場所 銀座東武ホテル

講 師 AJ Advisers LLC日本支社 アンディー マイヤーズ氏

普千(上海)商務諮詢有限公司 宮田将士 氏

参加人数 93名

ニューヨークで開催されたAdvertising Weekでのトピックを伝え、世界の最新事例を共有した。また、多くの規制がある中国の広告市場の現状も共有した。

- ・「ソーシャルメディアユーザー調査報告」

日 時 12月13日 15時～17時 場所 銀座東武ホテル

講 師 日経リサーチ 高尾朋枝氏、電通レイザーフィッシュ 田中準也氏

日本ブランド戦略研究所 鈴木陽子氏、文藝春秋 田中裕士氏

グラスパ 小梨由美氏

参加人数 122名

より良いコミュニケーション戦略のため、生活者のソーシャルメディア上での行動、及びマルチデバイスへの対応状況の調査結果を共有した。

5. 相談助言事業

特に新入会員社を中心に、生活者とのより良いコミュニケーション環境構築のための質問、相談が寄せられ、適切な助言を行った。

- ・最適な広告会社の選択について 対応 専務理事・事務局
- ・広告制作物とクリエイターの選別について 対応 専務理事・理事
- ・SNSとマスメディアの適正なメディア配分について 対応 事務局
- ・有事の際の備えについて 問い合わせ件数 15件 対応 専務理事・理事・事務局

6. 他団体への支援連携事業

- ・「景品表示法の運用状況と違反事例について」 関係6団体共催

(公社)日本広告審査機構、(公社)日本広告制作協会、(一社)日本広告業協会、

(一社) 日本アド・コンテンツ制作社連盟、(一社) インターネット広告推進協議会

日 時 7月9日 13時～17時 場所 東京商工会議所 東商ホール

8月29日 14時～17時 場所 電通関西支社 大ホール

参加人数 東京 544名 大阪 236名

講 師 消費者庁 片桐一幸氏、日本広告審査機構 吉田巖氏

すべての広告関係者を対象に、過去一年に消費者庁で取り上げた違反事例やJAROに寄せられた消費者からの意見を紹介し、コンプライアンスの遵守の重要性について講演した。

- ・世界広告主連盟(WFA) ニューヨーク総会

日 時 3月12日～16日 10時～17時 場所 ニューヨーク市内

参加人数 約600名

講 師 The Coca-Cola Company Mr.Joseph Tripodi,
Buch InBev Mr.Chris Burggraeve, 他

世界各国のアドバイザーズ協会、広告主企業を中心とした広告・マーケティング関連の関係者を対象とした国際会議。消費者とのコミュニケーション、ブランディング等をテーマに最先端のマーケティング手法・技術等を研究。

- ・セミナー「新聞広告の今とこれからを考える」(一社) 日本新聞協会 共催

日 時 10月25日 10時20分～16時30分 場所 ベルサール神田

参加人数 247名

講 師 慶應義塾大学 清水聰氏、パナソニック 上川内利博氏

サンスター 西宮正明氏、朝日新聞東京本社 入江英主氏

中日新聞東京本社 西田正直氏、博報堂ケトル 嶋浩一郎氏

新聞社とアドバイザーが協調して、すべての広告関係者に向けて、生活者に信頼性の高い情報を提供していく上での新聞広告の重要性や、効果的な使い方などについて講演した。

- ・「広告とメディアの新たな関係を探る」 日本広告学会全国大会 協賛

日 時 11月17日～18日 10時～16時30分 場所 駒澤大学

参加人数 約100名

講 師 日本民間放送連盟 木村幹夫氏、駒澤大学 各務洋子氏、他

広告学の研究者を会員とする広告学会に対して、学問としての広告の探求を支援するため、全国大会に協賛した。

- ・「青少年の非行・被害防止全国強調月間」 内閣府 協賛

期 間 7月1日から7月31日まで

内閣府参事官（青少年環境整備担当）から依頼を受け、協賛した。

- ・ 東京都広告物審議会委員推薦 東京都

東京都石原慎太郎知事より依頼を受け、屋外広告物の規制などに関する事項を審議する審議会委員として、協会常任理事SP広告委員長を推薦した。

7. 広報事業

協会が収集蓄積した情報や調査研究の成果、協会の活動状況を知ってもらうことにより、広告活動の健全な発展をはかることを目的に、会報誌「月刊JAA」の発行、協会ホームページ（<http://www.jaa.or.jp>）での広報活動を行った。

<3>事業活動の記録

人材育成事業

■「超」基礎講座

実施日	参加者
5月30日 東京	43社79名
10月24日 東京（第2回）	31社56名
6月 6日 大阪	14社21名
11月 2日 名古屋	5社12名

■実践広告塾

実施日	参加者
4期8日間 東京 （6月28日、29日／7月26日、27日 ／9月6日、7日／10月4日、5日）	25社37名

■Webプロデューサー育成講座

実施日	参加者	テーマ
初級講座 7月4日、11日	54社85名	基礎からコミュニケーション設計まで

■クリエイティブ塾

実施日	参加者	テーマ
2月22日	13社19名	(株)dofコミュニケーションデザイナー 齋藤太郎氏から学ぶ広告コミュニケーション(1)
5月8日	13社19名	(株)dofコミュニケーションデザイナー 齋藤太郎氏から学ぶ広告コミュニケーション(2)
7月13日	13社19名	講師：電通・ECD 高崎卓馬氏
10月12日	9社10名	講師：TBWAHAKUHODO ECD 佐藤カズー氏
11月26日	11社17名	(株)dofコミュニケーションデザイナー 齋藤太郎氏から学ぶ広告コミュニケーション(3)

■アドフェスト研修ツアー

実施日	参加者	テーマ
3月15日～21日 タイ	5社12名	現地広告会社・制作プロダクション訪問と アドフェスト参加

■新任宣伝課長向け勉強会

実施日	参加者	テーマ
10月10日	12社12名	・新任課長職向け勉強会 「スキルを磨く・知見を広める(課長職編)」 ～マネジメントに必要な基礎から実践まで～
11月14日	7社7名	・新任課長職向け勉強会(第2回) 「スキルを磨く・知見を広める(課長職編)」 ～マネジメントに必要な基礎から実践まで～

■新任宣伝部長向け勉強会

実施日	参加者	テーマ
10月19日	9社9名	・新任部長向け勉強会 「知っておきたい広告宣伝部長の心得」

啓発普及事業

■広告論文セミナー

実施日	参加者	テーマ
3月2日 大阪	16社 31名	金賞：スマホアプリの広告メディアとしての可能性と活用法
3月9日 東京	68社178名	銀賞：リローンチ広告の成功の鍵は視点が握る 銅賞：雑誌コンテンツ活用の大いなる有望性

■JAAミーティング

実施日	参加者	テーマ
2月15日	8社10名	・ソーシャル/デジタル「自社サイトをどうメディア化していくのか」
4月25日	11社11名	・「ラジオ広告を効果的に活用しよう」
6月 6日	11社11名	・発想の転換で楽しく仕事を！ ポジティブシンキング的視点
8月22日	13社13名	・ソーシャル/デジタル「フィジカル・ショッパーマーケティング」
9月26日	9社 9名	・ソーシャル/デジタル「ソーシャルメディアを活用する条件」

■JAAセミナー

実施日（主催委員会）	参加者	テーマ
3月22日（電波）	35社52名	・TVCM音声レベルに新運用基準適用開始 ・ケーススタディ「TVCM文字字幕対応 花王」

4月24日 (SP広告)	37社37名	・トレンドスポット見学会「東京スカイツリー(開業前)見学会」
5月14日 (広報)	58社97名	・TV局を活用した戦略的広報展開「TV東京WBSでの取り上げたテーマを参考に」
5月24日 (国際)	31社42名	・調査からわかる日本と海外の消費者の違い「消費者のデジタルシフトに対応したマーケティング活動」
6月12日 (新聞)	31社48名	・ケーススタディ「J-MONITOR活用と効果 積水ハウス」
7月9日 (法務著作権)	321社554名	・広告5団体共催「景品表示法の運用状況と違反事例について」
7月12日 (消費者)	20社36名	・「若者消費者論～ケータイ世代とスモールライフ～」
7月13日 (クリエイティブ)	28社79名	・第15回アジア太平洋広告祭＝アド・フェスト入賞作品講評会
7月30日 (雑誌・クリエイティブ)	40社116名	・ケーススタディ「これからの雑誌広告について考えよう2～VERY今尾編集長を迎えて」
8月1日 (デジタルメディア)	23社29名	・ケーススタディ「トヨタのスマートフォンを活用したマーケティング」「NECのデジタルサイネージにおける新たな取り組み」
9月3日 (SP広告)	23社27名	・屋外広告の効果統一指標の策定、及び視認率調査について
9月10日 (法務著作権)	39社67名	・広告実務における知的罪サイのリスクマネジメント
9月25日 (SP広告)	32社42名	・トレンドスポット見学会「東京駅見学会～広告媒体・デジタルサイネージなど、最新状況」
10月1日 (デジタルメディア)	91社166名	・ケーススタディ「資生堂の挑戦～020の本当の課題は何か、そしていかにして乗り越えたか」
10月12日 (クリエイティブ)	29社59名	・カンヌ国際クリエイティビティ・フェスティバル入賞作品講評会

10月25日(新聞)	43社73名	・ケーススタディ「第5回新聞協会共催セミナー：新聞広告の今とこれからを考える」
10月30日 (広告倫理)	23社27名	・「ヤフーにおける広告審査の実務からみたインターネット広告の倫理、審査の実態～適正な広告のために心がけたいポイントについて～」
11月28日(新聞)	28社46名	・ケーススタディ「J-MONITOR最新情報」「J-MONITOR活用事例 キックマン」
12月12日(雑誌)	30社65名	・ケーススタディ「事例研究 ダイハツミライース×講談社×YouTube～雑誌コンテンツがつなぐリアルとデジタル」

■Web広告研究会セミナー

実施日	参加者	テーマ
2月29日 WABフォーラム	116社205名	・Cooking Big Data ～マーケティングの新しい時代へ「Big Dataをプロに教わろう」 「広告主が考える今年のマーケティング注力テーマ」
2月28日 Web研セミナー	15社22名	・ad:tech報告会「デジタルマーケティングの潮流」
3月27日 WAB月例	111社183名	・「何が変わった？スマートフォン急増によるネットとモバイル」「スマートフォンで変化するユーザーのネット利用実態」「スマホ時代のネットとモバイル対応」
4月24日 WAB月例	72社97名	・「インターネット消費者取引に係る広告表示に関する景品表示法上の問題点及び留意事項」 「健全なWOMマーケティングのために」
5月10日 特別セミナー	95社126名	・リッスンファースト (Listen First!) 著者スティーブ・D・ラパポート氏来日セミナー

5月14日 WAB月例	43社64名	・Webクリエイション・アワード10周年 記念講演「受賞者が語る、この賞の価値と今 後への期待」
6月21日 特別	81社119名	・ad:tech San Francisco2012基調講演 「Amazon:Lisa Utzschneider氏 来日記念 セミナー」
6月25日 WAB月例	84社136名	・AR最新事例「生活者のメディア接触のイマ ～メディア定点調査2012より」
7月23日 Web月例	83社150名	・「メディアのいまとこれから」
7月25日 Web研セミナー	36社56名	・big data時代 「如何に問題に向き合うか」
9月13日 Web研セミナー	83社151名	・カンヌライオンズ報告セミナー
9月19日 WABフォーラム	133社219名	・第26回WABフォーラム&第10回Web クリエイション・アワード贈賞式
10月23日 WAB月例	66社93名	・NY Advertising Weekより 「これからのONLINEブランディング広告 中国 インターネットと広告の最新事情」
11月1日 特別	94社138名	・Facebook Mark D'Arcy来日セミナー
11月27日 WABセミナー	140社187名	・第10回Webクリエイション・アワード Web人大賞・記念講演「ローソンのソー シャルメディア施策」 「ad:tech東京とNYの 違いから今後を読む」
12月4日 WABセミナー	56社82名	・「新Googleアナリティクスを知り、活用す る」
12月13日 WAB月例	88社122名	・消費者メディア ソーシャルメディアユー ザー調査報告

■Web広告研究会 関西セミナー

実施日	参加者	テーマ
第一回 3月2日	80社140名	「Drive Heart Project」国内自動車メーカー8社の取り組み
第二回 7月6日	61社135名	企業と生活者 コミュニケーションは如何になってゆくのか
第三回 9月14日	92社155名	企業Web最前線 「ホットな事例で見せる企業ウェブ最前線」